

# 企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2010年12月調査）

2011年2月

株式会社 日通総合研究所

## 目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向 .....	3
2. 輸送機関利用の動向 .....	7
(1) 一般トラック .....	8
(2) 特別積合せトラック .....	9
(3) 宅配便 .....	10
(4) 鉄道コンテナ .....	11
(5) 内航コンテナ .....	12
(6) 国内航空 .....	13
3. 輸出入貨物量の動向 .....	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー .....	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー .....	16
(3) 国際航空 ー輸出ー .....	17
(4) 国際航空 ー輸入ー .....	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向 .....	19
(1) 在庫量 ー原材料ー .....	20
(2) 在庫量 ー製品ー .....	21
(3) 営業倉庫保管量 .....	22
5. 運賃・料金の動向 .....	23
(1) 一般トラック運賃 .....	24
(2) 特別積合せトラック運賃 .....	25
(3) 鉄道コンテナ運賃 .....	26
(4) 内航コンテナ運賃 .....	27
(5) 国内航空運賃 .....	28
(6) 営業倉庫保管料金 .....	29
6. 物流コスト割合の動向 .....	30

## I. 調査の内容

**目的** : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

**方法** : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標<sup>(\*)</sup>とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[ \begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[ \begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(\*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

**調査対象** : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

## －今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2010年10～12月の実績と2011年1～3月の見通しを12月初旬時点でうかがったものであり、1,081社からご協力をいただき、回答率は43.2%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

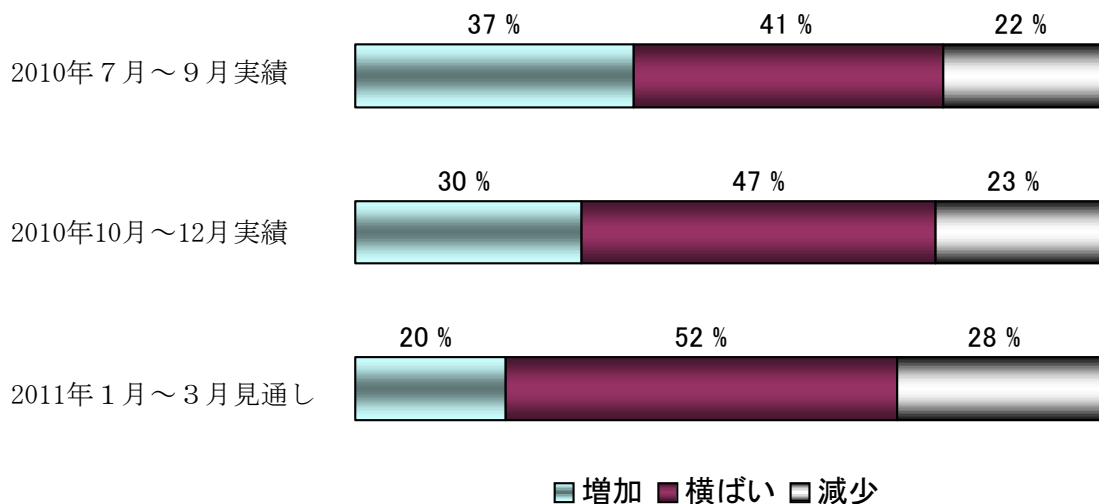
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	99	42.7
	繊 維 ・ 衣 服	111	50	45.0
	木 材 ・ 家 具	96	42	43.8
	パ ル プ ・ 紙	107	45	42.1
	化学・プラスチック	238	109	45.8
	窯 業 ・ 土 石	102	44	43.1
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	111	56.6
	金 属 製 品	128	60	46.9
	一 般 機 械	222	99	44.6
	電 気 機 械	333	136	40.8
	輸 送 用 機 械	250	90	36.0
	精 密 機 械	67	25	37.3
	そ の 他	167	59	35.3
計		2,249	969	43.1
卸 売 業	生 産 財	124	60	48.4
	消 費 財	127	52	40.9
	計	251	112	44.6
合 計		2,500	1,081	43.2

## Ⅱ. 調査の結果

### － 1. 国内向け出荷量の動向－

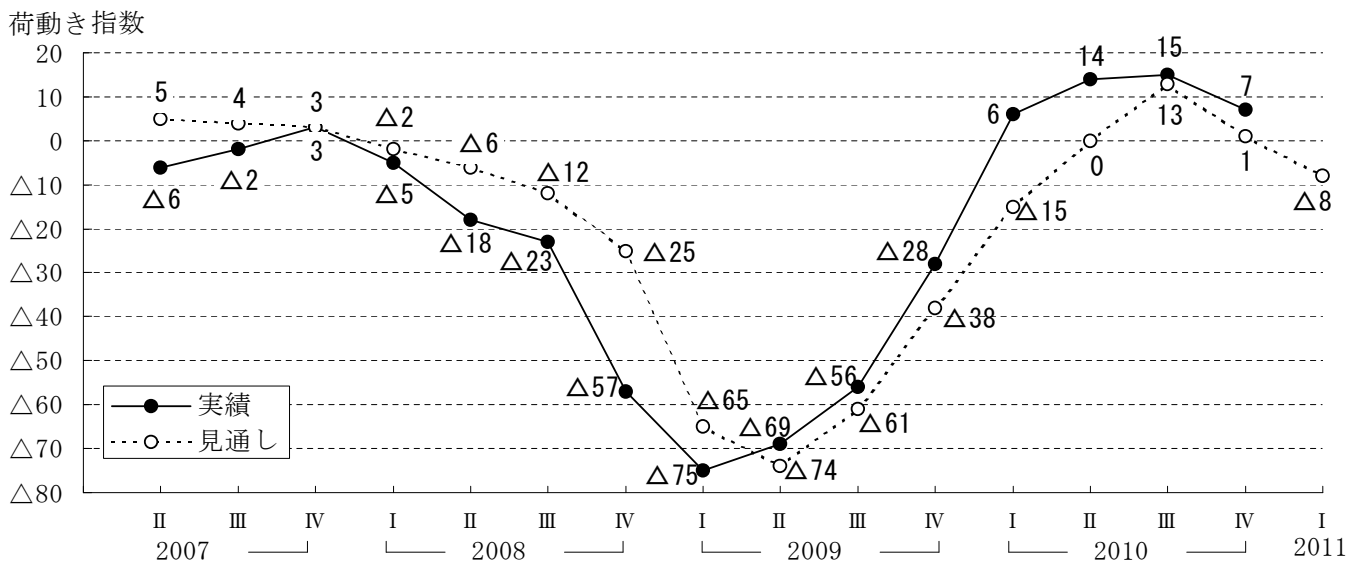
- 2010年10～12月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2010年7～9月）実績より7ポイント低下し30%となった。一方、「減少」との回答は前期より1ポイント上昇し23%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は8ポイント低下してプラス7となった。
- 2011年1～3月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2010年10～12月）実績（見込み）より10ポイント低下し20%となる一方、「減少」との回答は5ポイント上昇して28%になる。この結果『荷動き指数』は15ポイント低下して△8と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2009年1～3月を底に、2010年7～9月まで荷動きの回復・拡大基調が続いたものの、2010年10～12月実績（見込み）では増勢にブレーキがかかった。さらに、2011年1～3月見通しでは、『荷動き指数』が△8と5期ぶりに水面下に落ち込む見込みであり、荷動きには足踏みがみられる。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2011年I期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2010年IV期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

■ 2010年10～12月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、鉄鋼・非鉄など9業種がプラス、精密機械および消費財卸がゼロ水準で、パルプ・紙など4業種がマイナスとなった。

■ 2011年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、すべての業種で『荷動き指数』の悪化が見込まれ、プラスの業種は化学・プラスチックなど4業種にとどまり、残り11業種がマイナスを示す。この結果、荷動きの減退の動きが広範囲の業種に拡大する見通しである。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	99	25	53	22	3	99	15	65	20	△ 5
	繊維・衣服	50	28	54	18	10	50	20	54	26	△ 6
	木材・家具	42	38	48	14	24	42	24	57	19	5
	パルプ・紙	45	17	47	36	△ 19	45	13	42	45	△ 32
	化学・プラスチック	109	26	59	15	11	109	21	65	14	7
	窯業・土石	41	34	44	22	12	42	16	55	29	△ 13
	鉄鋼・非鉄	108	41	44	15	26	108	28	46	26	2
	金属製品	60	28	37	35	△ 7	59	17	46	37	△ 20
	一般機械	97	34	36	30	4	97	22	46	32	△ 10
	電気機械	133	32	41	27	5	132	19	47	34	△ 15
	輸送用機械	89	23	52	25	△ 2	87	23	46	31	△ 8
	精密機械	25	24	52	24	0	25	16	60	24	△ 8
その他	59	37	46	17	20	59	27	48	25	2	
計	957	30	47	23	7	954	21	52	27	△ 6	
卸売業	生産財	56	23	43	34	△ 11	56	20	46	34	△ 14
	消費財	50	24	52	24	0	50	6	68	26	△ 20
	計	106	24	47	29	△ 5	106	13	57	30	△ 17
合計	1,063	30	47	23	7	1,060	20	52	28	△ 8	

■ 2010年10～12月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、北海道、四国、九州・沖縄の3地域がマイナスで、残り6地域ではプラスとなった。なかでも、北陸・信越、東海、中国では2ケタのプラスを示したのに対し、北海道および四国では2ケタのマイナスとなっており、地域差が顕著である。

■ 2011年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、東海を除くすべての地域でマイナスに沈み、とりわけ北海道、四国ではマイナス幅が大きく、荷動きの減退圧力が強まる見通しである。

### 国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

地 域	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	49	18	47	35	△ 17	49	8	53	39	△ 31
東 北	94	28	50	22	6	93	20	51	29	△ 9
関 東	259	29	49	22	7	259	18	53	29	△ 11
北 陸 ・ 信 越	114	39	39	22	17	114	21	51	28	△ 7
東 海	148	35	43	22	13	146	28	47	25	3
近 畿	149	29	49	22	7	149	22	54	24	△ 2
中 国	105	31	49	20	11	105	20	59	21	△ 1
四 国	62	24	42	34	△ 10	62	11	54	35	△ 24
九 州 ・ 沖 縄	83	22	54	24	△ 2	83	18	52	30	△ 12
合 計	1,063	30	47	23	7	1,060	20	52	28	△ 8

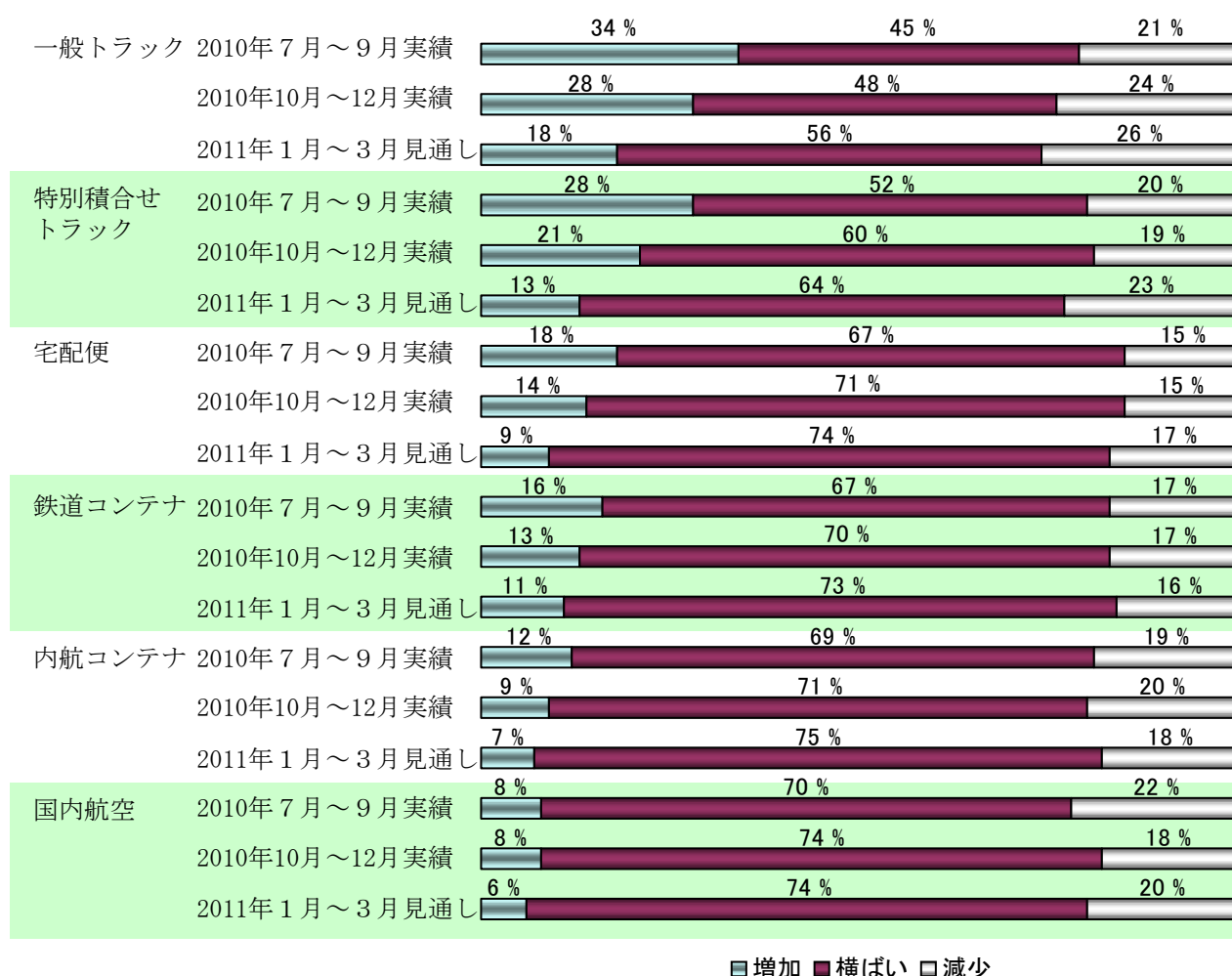


## － 2. 輸送機関利用の動向－

■ 2010年10～12月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』をみると、一般トラックおよび特別積合せトラックではプラスを示す一方で、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空ではマイナスとなった。前期（2010年7～9月）実績との比較では、国内航空で4ポイントの改善がみられたが、それ以外の輸送機関では『利用動向指数』が悪化した。

■ 2011年1～3月の見通しでは、鉄道コンテナ、内航コンテナで『利用動向指数』が概ね横ばいで推移する以外は、残りすべての輸送機関で『利用動向指数』が大幅に低下し、すべての輸送機関でマイナスとなる。この結果、各輸送機関とも荷動きは減退する見通しである。

各輸送機関の利用の実績と見通し



## (1) 一般トラック

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、木材・家具など9業種がプラス、金属製品など6業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』はプラス4で、前期（2010年7～9月）実績からは9ポイント低下した。

■ 2011年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、すべての業種で『利用動向指数』が悪化し、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄の2業種がプラス、木材・家具がゼロ水準にとどまる以外は、残り12業種がマイナスを示す。業種全体の『利用動向指数』は12ポイント低下して△8とマイナスに反転する見通しで、利用は減退に向かうとみられる。

### 一般トラック利用の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	97	25	54	21	4	93	13	68	19	△6
	繊維・衣服	41	29	54	17	12	41	22	51	27	△5
	木材・家具	41	37	49	14	23	39	23	54	23	0
	パルプ・紙	44	22	48	30	△8	43	14	51	35	△21
	化学・プラスチック	108	22	60	18	4	108	18	66	16	2
	窯業・土石	44	36	44	20	16	44	11	62	27	△16
	鉄鋼・非鉄	107	38	46	16	22	107	24	53	23	1
	金属製品	58	24	40	36	△12	57	14	44	42	△28
	一般機械	93	34	36	30	4	92	23	49	28	△5
	電気機械	122	25	41	34	△9	121	17	51	32	△15
	輸送用機械	89	22	52	26	△4	87	18	57	25	△7
	精密機械	19	16	58	26	△10	19	11	63	26	△15
	その他	58	33	53	14	19	57	25	49	26	△1
計	921	28	48	24	4	908	18	56	26	△8	
卸売業	生産財	56	21	52	27	△6	55	18	51	31	△13
	消費財	46	26	50	24	2	45	7	71	22	△15
	計	102	24	51	25	△1	100	13	60	27	△14
合計	1,023	28	48	24	4	1,008	18	56	26	△8	

## (2) 特別積合せトラック

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、その他の製造業など5業種がプラス、輸送用機械がゼロ水準で、食料品・飲料など9業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』はプラス2で、前期（2010年7～9月）実績との比較では6ポイント低下した。

■ 2011年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、プラスの業種は皆無となり、その他の製造業がゼロ水準にとどまる以外、残りすべての業種がマイナスを示す。業種全体の『利用動向指数』は△10と12ポイント低下する見通しで、一般トラック同様、利用は拡大から縮小に転じるとみられる。

### 特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	62	12	65	23	△ 11	60	10	70	20	△ 10
繊維・衣服	40	14	63	23	△ 9	39	15	54	31	△ 16
木材・家具	23	26	52	22	4	23	8	70	22	△ 14
パルプ・紙	26	23	50	27	△ 4	26	19	54	27	△ 8
化学・プラスチック	89	16	72	12	4	89	15	66	19	△ 4
窯業・土石	34	32	59	9	23	34	8	74	18	△ 10
鉄鋼・非鉄	69	33	55	12	21	69	17	63	20	△ 3
金属製品	40	19	58	23	△ 4	40	7	65	28	△ 21
一般機械	72	18	63	19	△ 1	71	15	67	18	△ 3
電気機械	99	22	54	24	△ 2	99	12	61	27	△ 15
輸送用機械	57	18	64	18	0	56	14	68	18	△ 4
精密機械	11	9	73	18	△ 9	11	9	64	27	△ 18
その他	43	33	60	7	26	42	17	66	17	0
計	665	21	61	18	3	659	13	65	22	△ 9
卸売業										
生産財	45	16	60	24	△ 8	45	11	58	31	△ 20
消費財	31	19	55	26	△ 7	31	6	65	29	△ 23
計	76	17	58	25	△ 8	76	9	61	30	△ 21
合計	741	21	60	19	2	735	13	64	23	△ 10

### (3) 宅配便

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、鉄鋼・非鉄など6業種がプラス、輸送用機械および精密機械がゼロ水準で、金属製品など7業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△1で、前期（2010年7～9月）実績からは4ポイント低下した。

■ 2011年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、大半の業種で悪化方向に動き、鉄鋼・非鉄、消費財卸の2業種がプラスにとどまる以外は、残り13業種がすべてマイナスとなる。業種全体の『利用動向指数』は△8とさらに7ポイント低下する見込みで、利用の減退圧力が強まる見通しである。

#### 宅配便利用の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	66	6	74	20	△14	63	2	79	19	△17
	繊維・衣服	41	9	76	15	△6	41	7	69	24	△17
	木材・家具	32	19	59	22	△3	31	10	71	19	△9
	パルプ・紙	20	10	75	15	△5	20	10	75	15	△5
	化学・プラスチック	84	6	77	17	△11	83	4	83	13	△9
	窯業・土石	30	10	83	7	3	30	3	87	10	△7
	鉄鋼・非鉄	70	17	79	4	13	70	14	77	9	5
	金属製品	51	8	61	31	△23	50	4	64	32	△28
	一般機械	92	24	63	13	11	92	13	73	14	△1
	電気機械	120	16	63	21	△5	119	13	62	25	△12
	輸送用機械	63	10	80	10	0	61	8	82	10	△2
	精密機械	24	21	58	21	0	24	12	71	17	△5
	その他	44	16	75	9	7	43	11	70	19	△8
計	737	13	71	16	△3	727	9	73	18	△9	
卸売業	生産財	43	14	74	12	2	42	9	74	17	△8
	消費財	41	20	71	9	11	39	13	77	10	3
	計	84	17	73	10	7	81	11	75	14	△3
合計	821	14	71	15	△1	808	9	74	17	△8	

#### (4) 鉄道コンテナ

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、金属製品など5業種がプラス、生産財卸など10業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△4で、前期（2010年7～9月）実績からは3ポイント低下した。

■ 2011年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械がプラスに戻し、化学・プラスチックでも増勢の拡大が見込まれる一方、木材・家具はマイナスに反転し、鉄鋼・非鉄も水面まで下降するなど、業種によりバラツキがみられる。業種全体の『利用動向指数』は△5と弱含み横ばいで推移する見通しで、利用の減退が続くとみられる。

#### 鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	51	11	69	20	△9	51	8	80	12	△4
	繊維・衣服	15	6	67	27	△21	15	0	80	20	△20
	木材・家具	15	27	60	13	14	15	13	67	20	△7
	パルプ・紙	32	9	69	22	△13	31	9	68	23	△14
	化学・プラスチック	69	16	71	13	3	69	16	75	9	7
	窯業・土石	18	6	72	22	△16	18	6	72	22	△16
	鉄鋼・非鉄	41	22	63	15	7	41	17	66	17	0
	金属製品	21	24	71	5	19	21	19	67	14	5
	一般機械	33	9	88	3	6	33	12	85	3	9
	電気機械	35	8	69	23	△15	35	6	74	20	△14
	輸送用機械	27	14	67	19	△5	27	22	67	11	11
	精密機械	7	0	71	29	△29	7	0	71	29	△29
	その他	29	10	76	14	△4	28	11	71	18	△7
	計	393	13	71	16	△3	391	12	73	15	△3
卸売業	生産財	12	8	50	42	△34	11	9	55	36	△27
	消費財	17	6	76	18	△12	16	0	75	25	△25
	計	29	6	66	28	△22	27	3	67	30	△27
合計	422	13	70	17	△4	418	11	73	16	△5	

## (5) 内航コンテナ

- 2010年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、パルプ・紙および窯業・土石の2業種がプラス、鉄鋼・非鉄がゼロ水準で、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△11で、前期（2010年7～9月）実績からは4ポイント低下した。
- 2011年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械がプラスに反転する一方、鉄鋼・非鉄がマイナスに沈むなど、業種により若干のバラツキがみられるが、業種全体の『利用動向指数』は横ばいで推移しよう。このため、利用は引き続き減退する見通しである。

### 内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	31	6	71	23	△ 17	31	3	84	13	△ 10
	繊維・衣服	10	0	80	20	△ 20	10	10	70	20	△ 10
	木材・家具	8	12	63	25	△ 13	8	0	75	25	△ 25
	パルプ・紙	15	27	60	13	14	15	20	67	13	7
	化学・プラスチック	43	5	74	21	△ 16	43	9	75	16	△ 7
	窯業・土石	14	29	50	21	8	14	14	79	7	7
	鉄鋼・非鉄	27	11	78	11	0	27	7	74	19	△ 12
	金属製品	20	0	85	15	△ 15	19	5	79	16	△ 11
	一般機械	32	6	81	13	△ 7	32	3	84	13	△ 10
	電気機械	27	4	70	26	△ 22	27	0	78	22	△ 22
	輸送用機械	19	16	63	21	△ 5	19	21	63	16	5
	精密機械	4	0	75	25	△ 25	4	0	75	25	△ 25
	その他	19	16	63	21	△ 5	19	11	63	26	△ 15
計	269	9	72	19	△ 10	268	8	75	17	△ 9	
卸売業	生産財	7	0	71	29	△ 29	7	0	57	43	△ 43
	消費財	13	0	62	38	△ 38	13	0	62	38	△ 38
	計	20	0	65	35	△ 35	20	0	60	40	△ 40
合計	289	9	71	20	△ 11	288	7	75	18	△ 11	

## (6) 国内航空

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『利用動向指数』は、プラスの業種は皆無で、木材・家具など3業種がゼロ水準にとどまる以外は、残り12業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△10で、前期（2010年7～9月）実績との比較では4ポイントの上昇がみられた。

■ 2011年1～3月の『利用動向指数』見通しでは、木材・家具など3業種も水面下に沈み、すべての業種がマイナスとなる。業種全体の『利用動向指数』は4ポイント低下して△14と、マイナス幅が再び拡大方向に動く。この結果、国内航空はすべての国内輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退が続く見通しである。

### 国内航空利用の実績と見通し

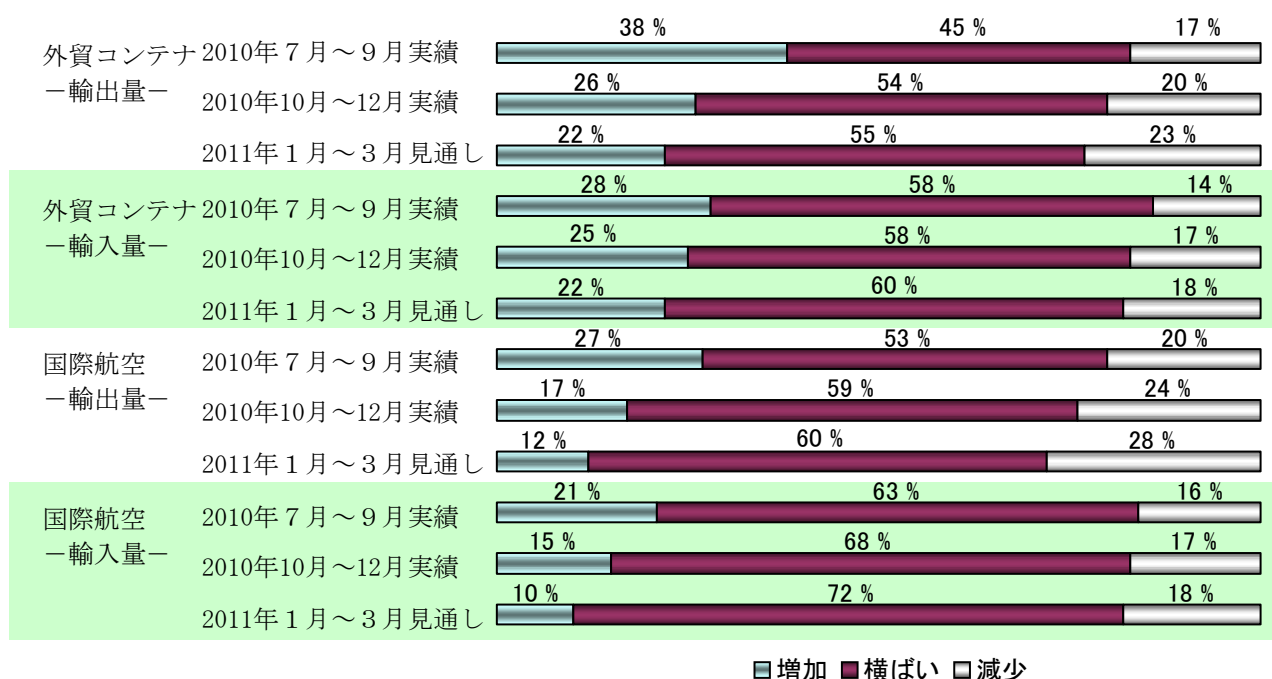
業 種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	21	0	81	19	△ 19	21	0	81	19	△ 19
	繊 維 ・ 衣 服	11	0	82	18	△ 18	11	0	82	18	△ 18
	木 材 ・ 家 具	8	25	50	25	0	8	0	75	25	△ 25
	パ ル プ ・ 紙	3	0	67	33	△ 33	3	0	67	33	△ 33
	化学・プラスチック	31	3	78	19	△ 16	31	0	77	23	△ 23
	窯 業 ・ 土 石	15	20	40	40	△ 20	15	13	47	40	△ 27
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	22	9	82	9	0	22	9	73	18	△ 9
	金 属 製 品	21	5	90	5	0	21	0	90	10	△ 10
	一 般 機 械	52	10	75	15	△ 5	52	10	75	15	△ 5
	電 気 機 械	57	10	67	23	△ 13	56	11	64	25	△ 14
	輸 送 用 機 械	23	9	78	13	△ 4	23	4	83	13	△ 9
	精 密 機 械	14	0	86	14	△ 14	14	0	86	14	△ 14
そ の 他	18	5	78	17	△ 12	18	6	72	22	△ 16	
計	296	8	74	18	△ 10	295	6	74	20	△ 14	
卸 売 業	生 産 財	10	10	50	40	△ 30	10	10	50	40	△ 30
	消 費 財	10	0	90	10	△ 10	9	0	89	11	△ 11
	計	20	5	70	25	△ 20	19	5	69	26	△ 21
合 計	316	8	74	18	△ 10	314	6	74	20	△ 14	

### － 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナの輸出・輸入ではプラスを示すものの、前期（2010年7～9月）実績より低下し、プラス幅は1ケタまで縮小した。国際航空でも『荷動き指数』は前期（2010年7～9月）実績より低下し、輸出・輸入ともマイナスに反転した。

■ 2011年1～3月の『荷動き指数』見通しについては、外貿コンテナ・国際航空の輸出・輸入ともさらに低下する見通しで、外貿コンテナの輸出では水面下に沈み、輸入でもプラス4まで下降しよう。外貿コンテナは2010年1～3月期以降、他の輸送機関に先駆けて荷動きの回復が続いてきたが、ここに来て足踏みがみられる。また、国際航空についても、輸出・輸入とも荷動きの減退圧力が強まるとみられる。

輸出入貨物量の実績と見通し





(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、窯業・土石など8業種がプラス、繊維・衣服がゼロ水準で、生産財卸など6業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』はプラス6で、前期（2010年7～9月）実績からは15ポイントの低下となった。

■ 2011年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、繊維・衣服がプラスに上昇する一方、鉄鋼・非鉄、金属製品、精密機械がマイナスに反転することなどにより、業種全体の『荷動き指数』は△1と僅かながら水面下に沈む。この結果、荷動きは停滞に陥る見通しである。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	13	8	77	15	△7	13	8	77	15	△7	
繊維・衣服	11	18	64	18	0	11	27	55	18	9	
木材・家具	9	11	56	33	△22	9	11	67	22	△11	
パルプ・紙	13	24	38	38	△14	13	24	38	38	△14	
化学・プラスチック	54	26	57	17	9	54	24	61	15	9	
窯業・土石	24	50	46	4	46	24	21	71	8	13	
鉄鋼・非鉄	43	26	56	18	8	43	20	47	33	△13	
金属製品	18	22	72	6	16	18	16	56	28	△12	
一般機械	57	42	32	26	16	57	39	39	22	17	
電気機械	53	19	60	21	△2	52	15	58	27	△12	
輸送用機械	44	30	45	25	5	44	27	48	25	2	
精密機械	14	29	50	21	8	14	21	50	29	△8	
その他	31	23	61	16	7	31	16	68	16	0	
計	384	28	53	19	9	383	23	54	23	0	
卸売業	生産財	9	0	56	44	△44	9	0	67	33	△33
	消費財	9	0	78	22	△22	9	0	78	22	△22
	計	18	0	67	33	△33	18	0	72	28	△28
合計	402	26	54	20	6	401	22	55	23	△1	

## (2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、精密機械など11業種がプラス、繊維・衣服および金属製品がゼロ水準で、パルプ・紙および生産財卸がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』はプラス8で、前期（2010年7～9月）実績より6ポイント低下した。

■ 2011年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、窯業・土石、鉄鋼・非鉄、金属製品がマイナスに沈むことなどにより、業種全体の『荷動き指数』は4ポイント低下してプラス4と見込まれる。このため、荷動きは拡大が続くものの勢いは鈍化する見通しである。

### 外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	17	24	59	17	7	17	24	52	24	0
	繊維・衣服	15	20	60	20	0	15	27	53	20	7
	木材・家具	15	27	53	20	7	15	20	60	20	0
	パルプ・紙	10	10	50	40	△30	10	10	50	40	△30
	化学・プラスチック	49	22	68	10	12	49	27	65	8	19
	窯業・土石	22	32	59	9	23	22	14	68	18	△4
	鉄鋼・非鉄	29	21	69	10	11	29	17	62	21	△4
	金属製品	17	12	76	12	0	17	6	76	18	△12
	一般機械	53	38	38	24	14	53	34	43	23	11
	電気機械	56	20	68	12	8	55	16	71	13	3
	輸送用機械	45	24	56	20	4	45	24	58	18	6
	精密機械	12	42	42	16	26	12	33	50	17	16
その他	29	24	59	17	7	28	25	57	18	7	
計	369	25	59	16	9	367	23	60	17	6	
卸売業	生産財	10	20	40	40	△20	10	10	60	30	△20
	消費財	14	29	64	7	22	14	14	72	14	0
	計	24	25	54	21	4	24	12	67	21	△9
合計	393	25	58	17	8	391	22	60	18	4	

### (3) 国際航空 —輸出—

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、プラス業種は皆無で、食料品・飲料など6業種がゼロ水準、生産財卸など9業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△7で、前期（2010年7～9月）実績との比較では14ポイントの低下となった。

■ 2011年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、輸送用機械がプラスに浮上し唯一プラスを示すが、化学・プラスチックおよび電気機械がマイナスに沈むことなどにより、業種全体の『荷動き指数』は△16とさらに9ポイントの低下が見込まれる。この結果、荷動きは減退圧力が強まる見通しである。

#### 国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0	
繊維・衣服	10	10	50	40	△30	10	0	50	50	△50	
木材・家具	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25	
パルプ・紙	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0	
化学・プラスチック	33	12	76	12	0	32	12	72	16	△4	
窯業・土石	12	16	42	42	△26	12	16	42	42	△26	
鉄鋼・非鉄	24	8	59	33	△25	24	4	58	38	△34	
金属製品	15	7	60	33	△26	16	6	63	31	△25	
一般機械	60	25	47	28	△3	60	18	54	28	△10	
電気機械	76	21	58	21	0	73	12	61	27	△15	
輸送用機械	28	21	58	21	0	28	29	50	21	8	
精密機械	15	20	53	27	△7	15	7	60	33	△26	
その他	15	7	86	7	0	15	13	74	13	0	
計	299	17	59	24	△7	296	13	60	27	△14	
卸売業	生産財	6	0	33	67	△67	6	0	33	67	△67
	消費財	10	10	70	20	△10	10	0	80	20	△20
	計	16	6	56	38	△32	16	0	63	37	△37
合計	315	17	59	24	△7	312	12	60	28	△16	

(4) 国際航空 —輸入—

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『荷動き指数』は、消費財卸など5業種がプラス、食料品・飲料など3業種がゼロ水準で、窯業・土石など7業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△2で、前期(2010年7～9月)実績からは7ポイント低下した。

■ 2011年1～3月の『荷動き指数』見通しでは、輸送用機械がゼロ水準まで戻し、生産財卸でもマイナス幅の縮小が期待されるが、それ以外の業種ではすべて『荷動き指数』が横ばいないし悪化方向に動く。この結果、業種全体の『荷動き指数』は6ポイント低下して△8と見込まれ、荷動きの減退が続く見通しである。

国際航空による輸入量の実績と見通し

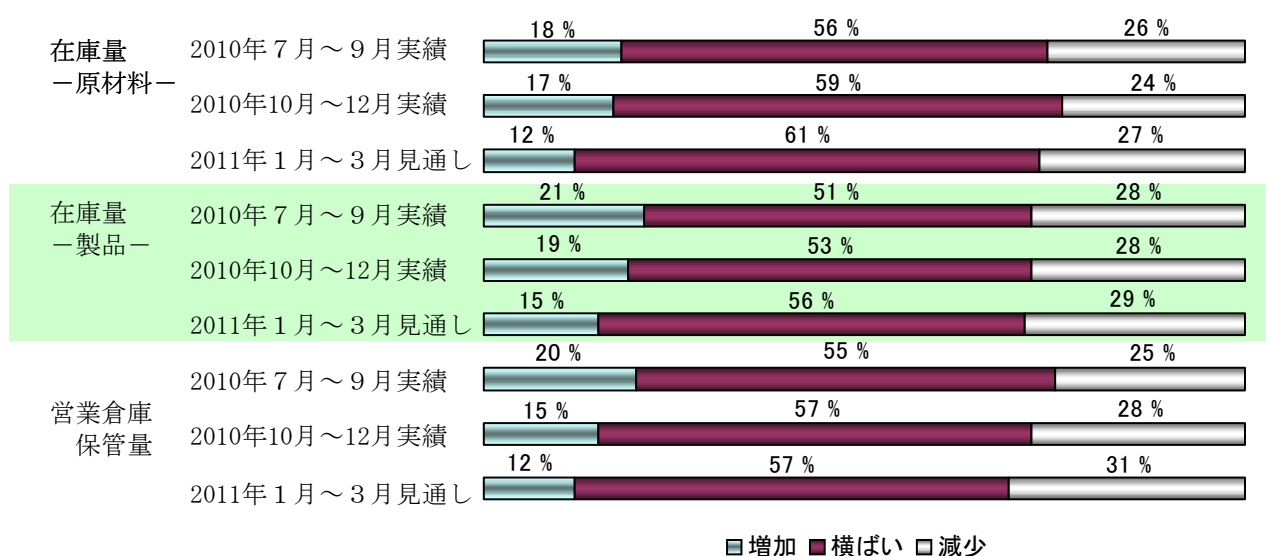
業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
繊維・衣服	9	11	56	33	△22	9	11	56	33	△22
木材・家具	5	0	80	20	△20	5	0	80	20	△20
パルプ・紙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
化学・プラスチック	32	9	75	16	△7	32	9	72	19	△10
窯業・土石	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
鉄鋼・非鉄	21	19	62	19	0	21	9	67	24	△15
金属製品	11	9	91	0	9	11	9	91	0	9
一般機械	51	24	57	19	5	51	15	67	18	△3
電気機械	67	16	69	15	1	66	14	68	18	△4
輸送用機械	24	8	75	17	△9	24	17	66	17	0
精密機械	15	20	67	13	7	15	0	80	20	△20
その他	17	6	76	18	△12	18	0	78	22	△22
計	266	14	69	17	△3	266	11	71	18	△7
卸売業										
生産財	10	20	40	40	△20	10	20	50	30	△10
消費財	11	27	64	9	18	11	0	91	9	△9
計	21	24	52	24	0	21	10	71	19	△9
合計	287	15	68	17	△2	287	10	72	18	△8

#### － 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2010年10～12月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも『動向指数』はマイナスとなった。前期（2010年7～9月）実績との比較では、原材料在庫は強含み横ばいで推移したが、製品在庫および営業倉庫保管量では『動向指数』が悪化した。

■ 2011年1～3月の見通しについては、いずれの『動向指数』も悪化し、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも2ケタのマイナスを示す。このため、在庫圧縮および営業倉庫保管量の削減がいつそう進む見通しである。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、鉄鋼・非鉄およびその他の製造業の2業種がプラス、化学・プラスチックおよび一般機械の2業種がゼロ水準で、残り11業種はマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△7で、前期（2010年7～9月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2011年1～3月の『在庫動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄、一般機械、その他の製造業もマイナスに沈み、化学・プラスチックがゼロ水準にとどまる以外は残りすべての業種がマイナスを示す。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は8ポイント低下して△15となり、原材料在庫の圧縮が進むとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	79	9	73	18	△9	77	2	77	21	△19
繊維・衣服	46	15	59	26	△11	46	15	55	30	△15
木材・家具	38	24	42	34	△10	38	13	55	32	△19
パルプ・紙	37	2	68	30	△28	37	0	76	24	△24
化学・プラスチック	98	16	68	16	0	98	14	72	14	0
窯業・土石	40	12	58	30	△18	40	17	58	25	△8
鉄鋼・非鉄	104	25	60	15	10	104	15	64	21	△6
金属製品	56	23	47	30	△7	55	12	53	35	△23
一般機械	84	25	50	25	0	84	20	54	26	△6
電気機械	119	17	55	28	△11	117	13	55	32	△19
輸送用機械	78	12	62	26	△14	78	10	53	37	△27
精密機械	21	19	57	24	△5	20	15	60	25	△10
その他	52	21	62	17	4	52	15	62	23	△8
計	852	18	59	23	△5	846	13	61	26	△13
卸売業										
生産財	29	17	45	38	△21	29	3	59	38	△35
消費財	25	8	52	40	△32	25	0	60	40	△40
計	54	13	48	39	△26	54	2	59	39	△37
合計	906	17	59	24	△7	900	12	61	27	△15

## (2) 在庫量 —製品—

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、鉄鋼・非鉄および消費財卸の2業種がプラス、パルプ・紙がゼロ水準で、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△9で、前期（2010年7～9月）実績からは小幅の悪化がみられた。

■ 2011年1～3月の『在庫動向指数』見通しでは、パルプ・紙および化学・プラスチックの2業種がプラスに浮上するものの、鉄鋼・非鉄および消費財卸はマイナスに沈み、電気機械、輸送用機械などでもマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△14とさらに5ポイント悪化し、製品在庫は圧縮圧力が強まる見通しである。

### 在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	86	14	60	26	△12	85	7	72	21	△14
	繊維・衣服	48	23	44	33	△10	48	20	40	40	△20
	木材・家具	38	11	50	39	△28	38	13	50	37	△24
	パルプ・紙	44	25	50	25	0	44	25	52	23	2
	化学・プラスチック	107	18	57	25	△7	107	20	63	17	3
	窯業・土石	43	18	49	33	△15	43	14	58	28	△14
	鉄鋼・非鉄	105	28	61	11	17	105	19	61	20	△1
	金属製品	55	22	42	36	△14	54	13	50	37	△24
	一般機械	85	22	50	28	△6	84	24	46	30	△6
	電気機械	126	16	51	33	△17	125	13	50	37	△24
	輸送用機械	81	17	56	27	△10	81	12	52	36	△24
精密機械	23	13	52	35	△22	23	17	48	35	△18	
その他	55	15	60	25	△10	55	11	62	27	△16	
計	896	19	54	27	△8	892	16	55	29	△13	
卸売業	生産財	49	12	49	39	△27	49	8	51	41	△33
	消費財	41	22	59	19	3	41	7	69	24	△17
	計	90	17	53	30	△13	90	8	59	33	△25
合計	986	19	53	28	△9	982	15	56	29	△14	

### (3) 営業倉庫保管量

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『保管動向指数』は、鉄鋼・非鉄が唯一プラスを示し、精密機械がゼロ水準で、残り13業種はすべてマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』は△13で、前期（2010年7～9月）実績より8ポイント悪化した。

■ 2011年1～3月の『保管動向指数』見通しでは、すべての業種がマイナスとなり、化学・プラスチックおよび鉄鋼・非鉄の2業種を除いて2ケタのマイナスを示す。業種全体の『保管動向指数』は△19とさらに6ポイント悪化する見込みで、営業倉庫保管量はいつもの削減が進む見通しである。

#### 営業倉庫保管量の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	69	14	51	35	△ 21	68	9	59	32	△ 23
繊維・衣服	29	3	59	38	△ 35	29	3	52	45	△ 42
木材・家具	27	15	44	41	△ 26	26	4	54	42	△ 38
パルプ・紙	35	6	63	31	△ 25	35	9	54	37	△ 28
化学・プラスチック	90	17	64	19	△ 2	90	16	66	18	△ 2
窯業・土石	28	25	36	39	△ 14	28	25	36	39	△ 14
鉄鋼・非鉄	63	19	67	14	5	63	10	73	17	△ 7
金属製品	32	12	63	25	△ 13	32	9	60	31	△ 22
一般機械	60	15	53	32	△ 17	60	18	54	28	△ 10
電気機械	84	19	50	31	△ 12	83	18	45	37	△ 19
輸送用機械	46	11	63	26	△ 15	46	4	63	33	△ 29
精密機械	14	29	42	29	0	14	14	57	29	△ 15
その他	43	21	56	23	△ 2	43	16	51	33	△ 17
計	620	16	56	28	△ 12	617	13	57	30	△ 17
卸売業										
生産財	42	12	57	31	△ 19	42	2	67	31	△ 29
消費財	35	14	52	34	△ 20	35	6	51	43	△ 37
計	77	13	55	32	△ 19	77	4	60	36	△ 32
合計	697	15	57	28	△ 13	694	12	57	31	△ 19

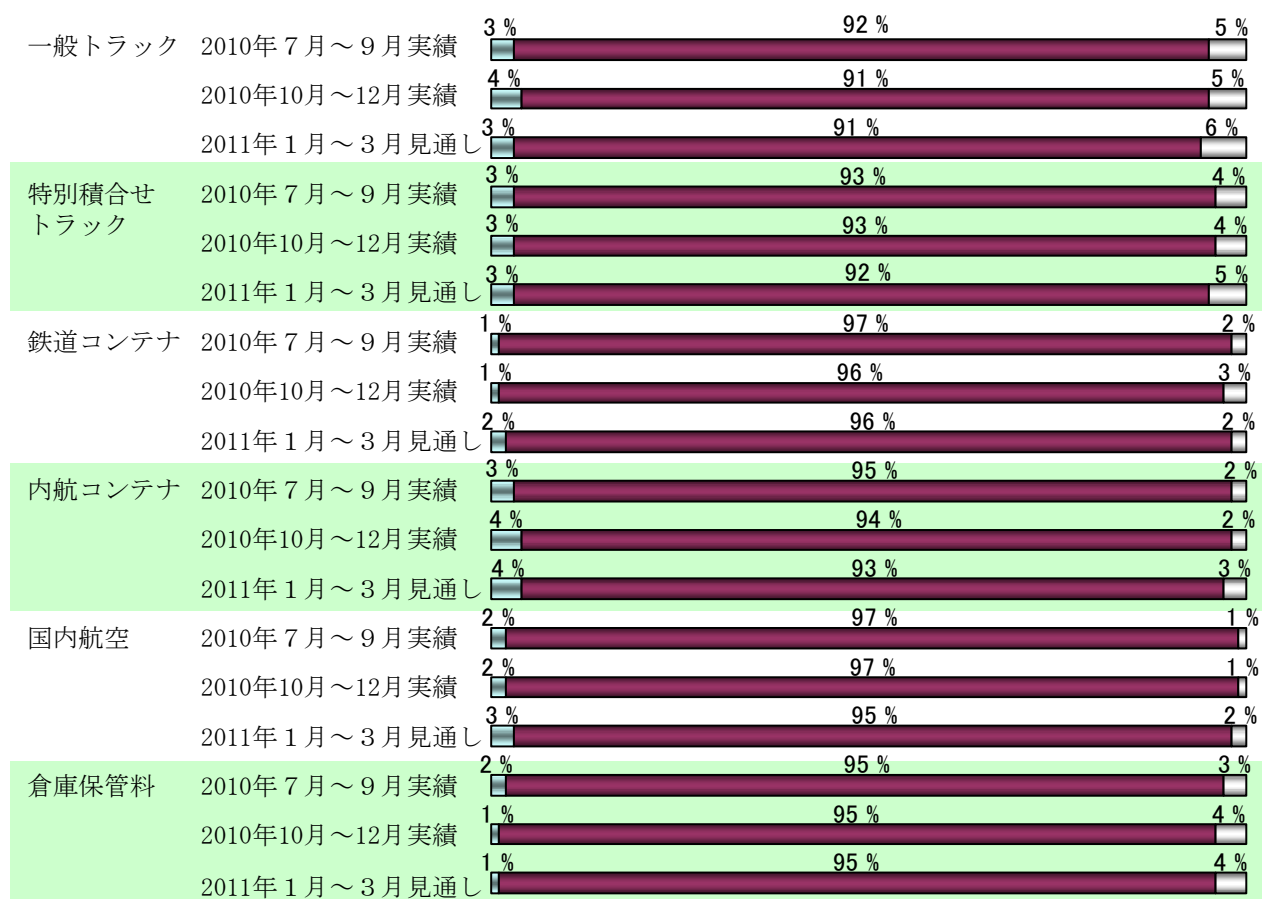


## － 5. 運賃・料金の動向－

■ 2010年10～12月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、倉庫保管料で△3とややマイナス幅が大きい以外はゼロ水準±2の範囲内に納まり、概ね現状維持の傾向が強い。前期（2010年7～9月）実績との比較では、『動向指数』は小幅の変化で推移した。

■ 2011年1～3月の『動向指数』見通しについては、一般トラックおよび倉庫保管料では△3と、運賃・料金はやや低下方向に動くが、その他の機関では『動向指数』が引き続きゼロ水準±2の範囲内にとどまり、総じて運賃・料金水準の大幅な変動は見込まれない。

運賃・料金の実績と見通し



■ 値上り ■ 変わらず □ 値下り

## (1) 一般トラック運賃

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、繊維・衣服など6業種がプラス、木材・家具およびその他の製造業がゼロ水準で、精密機械など7業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期(2010年7～9月)実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2011年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、その他の製造業がプラスに浮上するものの、繊維・衣服など4業種がマイナスに落ち込み、化学・プラスチックもゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は△3と小幅ながら低下する見通しで、運賃水準は低下方向に動くと思われる。

### 一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	95	3	93	4	△1	93	2	95	3	△1
繊維・衣服	41	2	98	0	2	41	0	98	2	△2
木材・家具	40	3	94	3	0	40	2	93	5	△3
パルプ・紙	43	5	86	9	△4	43	5	88	7	△2
化学・プラスチック	108	3	96	1	2	108	3	94	3	0
窯業・土石	43	0	93	7	△7	43	0	88	12	△12
鉄鋼・非鉄	106	8	86	6	2	106	5	86	9	△4
金属製品	57	5	86	9	△4	56	3	88	9	△6
一般機械	91	3	95	2	1	90	4	93	3	1
電気機械	121	2	91	7	△5	119	1	92	7	△6
輸送用機械	84	5	88	7	△2	83	4	86	10	△6
精密機械	19	0	89	11	△11	18	0	83	17	△17
その他	57	4	92	4	0	56	7	89	4	3
計	905	4	91	5	△1	896	3	91	6	△3
卸売業										
生産財	55	5	91	4	1	55	2	93	5	△3
消費財	47	4	94	2	2	47	6	94	0	6
計	102	5	92	3	2	102	4	93	3	1
合計	1,007	4	91	5	△1	998	3	91	6	△3

## (2) 特別積合せトラック運賃

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具など6業種がプラス、繊維・衣服および消費財卸がゼロ水準で、金属製品など7業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△1で、前期（2010年7～9月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2011年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、パルプ・紙がゼロ水準まで戻す一方、繊維・衣服、鉄鋼・非鉄、生産財卸がマイナスに沈むなど業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『運賃動向指数』は△2と弱含み横ばいでの推移が見込まれる。このため、運賃水準はやや下落する見通しである。

### 特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	61	3	92	5	△2	59	2	95	3	△1
繊維・衣服	39	3	94	3	0	39	3	92	5	△2
木材・家具	22	5	95	0	5	22	5	90	5	0
パルプ・紙	25	4	84	12	△8	25	4	92	4	0
化学・プラスチック	87	0	99	1	△1	87	2	93	5	△3
窯業・土石	34	3	97	0	3	34	3	94	3	0
鉄鋼・非鉄	68	6	91	3	3	68	4	89	7	△3
金属製品	41	2	81	17	△15	41	0	83	17	△17
一般機械	71	3	97	0	3	71	3	97	0	3
電気機械	96	2	94	4	△2	96	1	94	5	△4
輸送用機械	55	7	89	4	3	55	9	84	7	2
精密機械	12	0	92	8	△8	12	0	92	8	△8
その他	43	0	98	2	△2	41	0	95	5	△5
計	654	3	93	4	△1	650	3	92	5	△2
卸売業										
生産財	42	7	88	5	2	42	2	93	5	△3
消費財	31	3	94	3	0	31	3	94	3	0
計	73	5	91	4	1	73	3	93	4	△1
合計	727	3	93	4	△1	723	3	92	5	△2

### (3) 鉄道コンテナ運賃

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料および輸送用機械の2業種がプラス、繊維・衣服など7業種がゼロ水準で、窯業・土石など6業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』は△2で、前期（2010年7～9月）実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 2011年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄および一般機械がプラスに上昇し、化学・プラスチックも水面まで戻すことなどにより、業種全体の『運賃動向指数』は小幅ながら上昇してゼロ水準まで浮上する。この結果、運賃水準は下げ止まり、現状維持で推移する見通しである。

#### 鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	50	2	98	0	2	50	2	98	0	2
	繊維・衣服	16	0	100	0	0	16	0	100	0	0
	木材・家具	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0
	パルプ・紙	31	3	91	6	△3	31	3	91	6	△3
	化学・プラスチック	70	1	96	3	△2	70	1	98	1	0
	窯業・土石	17	0	88	12	△12	17	0	88	12	△12
	鉄鋼・非鉄	41	2	96	2	0	41	2	98	0	2
	金属製品	21	0	95	5	△5	21	0	90	10	△10
	一般機械	34	3	94	3	0	33	6	91	3	3
	電気機械	37	0	97	3	△3	37	0	97	3	△3
	輸送用機械	27	7	89	4	3	27	7	93	0	7
	精密機械	8	0	88	12	△12	8	0	88	12	△12
	その他	27	0	100	0	0	26	0	100	0	0
計	394	2	95	3	△1	392	2	95	3	△1	
卸売業	生産財	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
	消費財	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0
	計	29	0	100	0	0	29	0	100	0	0
合計	423	1	96	3	△2	421	2	96	2	0	

#### (4) 内航コンテナ運賃

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、消費財卸など6業種がプラス、木材・家具など5業種がゼロ水準で、精密機械など4業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期（2010年7～9月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2011年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、一般機械がゼロ水準まで下落する以外は大きな動きはみられない。業種全体の『運賃動向指数』もプラス1と弱含み横ばいで推移する見込みで、運賃水準は概ね現状維持が続くとみられる。

#### 内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	27	4	96	0	4	27	4	96	0	4
	繊維・衣服	10	10	90	0	10	10	10	90	0	10
	木材・家具	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
	パルプ・紙	15	7	93	0	7	15	7	93	0	7
	化学・プラスチック	43	0	100	0	0	43	0	100	0	0
	窯業・土石	14	0	93	7	△7	14	0	93	7	△7
	鉄鋼・非鉄	22	5	90	5	0	22	5	90	5	0
	金属製品	18	0	94	6	△6	17	0	94	6	△6
	一般機械	33	3	97	0	3	33	3	94	3	0
	電気機械	28	4	89	7	△3	28	4	89	7	△3
	輸送用機械	19	11	84	5	6	19	11	84	5	6
	精密機械	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25
	その他	18	0	100	0	0	17	0	100	0	0
計	258	3	94	3	0	256	3	94	3	0	
卸売業	生産財	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
	消費財	11	18	82	0	18	11	18	82	0	18
	計	17	12	88	0	12	17	12	88	0	12
合計	275	4	94	2	2	273	4	93	3	1	

## (5) 国内航空運賃

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、生産財卸など5業種がプラス、食料品・飲料など8業種がゼロ水準で、電気機械および精密機械の2業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期（2010年7～9月）実績からは横ばいで推移した。

■ 2011年1～3月の『運賃動向指数』見通しでは、食料品・飲料および化学・プラスチックがマイナスに落ち込む一方、その他の製造業がプラスに浮上し、電気機械および精密機械もゼロ水準まで戻すなど、業種によりバラツキがみられるが、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移しよう。このため、運賃水準は概ね現状維持が続く見通しである。

### 国内航空運賃の実績と見通し

業 種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	20	0	100	0	0	20	0	95	5	△5
	繊維・衣服	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	木材・家具	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
	パルプ・紙	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
	化学・プラスチック	37	0	100	0	0	37	0	97	3	△3
	窯業・土石	15	13	80	7	6	15	13	80	7	6
	鉄鋼・非鉄	21	0	100	0	0	21	0	100	0	0
	金属製品	20	0	100	0	0	19	0	100	0	0
	一般機械	52	2	98	0	2	52	4	96	0	4
	電気機械	59	2	95	3	△1	59	2	96	2	0
	輸送用機械	22	5	95	0	5	22	5	95	0	5
精密機械	12	0	92	8	△8	11	9	82	9	0	
その他	17	0	100	0	0	16	6	94	0	6	
計	295	2	97	1	1	292	3	96	1	2	
卸 売 業	生産財	10	10	90	0	10	10	10	90	0	10
	消費財	10	10	90	0	10	10	10	90	0	10
	計	20	10	90	0	10	20	10	90	0	10
合計	315	2	97	1	1	312	3	95	2	1	

## (6) 営業倉庫保管料金

■ 2010年10～12月実績（見込み）の『料金動向指数』は、一般機械が唯一プラス、繊維・衣服など3業種がゼロ水準で、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『料金動向指数』は△3で、前期(2010年7～9月)実績からは小幅の低下がみられた。

■ 2011年1～3月の『料金動向指数』見通しでは、一部業種を除いて大きな動きはみられず、業種全体の『料金動向指数』も横ばいで推移しよう。このため、料金水準は低下が続く見通しである。

### 営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	56	0	96	4	△4	56	0	96	4	△4
繊維・衣服	23	4	92	4	0	23	4	92	4	0
木材・家具	15	0	100	0	0	15	0	100	0	0
パルプ・紙	33	0	97	3	△3	33	0	100	0	0
化学・プラスチック	90	1	97	2	△1	90	2	97	1	1
窯業・土石	22	0	91	9	△9	22	0	91	9	△9
鉄鋼・非鉄	50	0	100	0	0	50	0	100	0	0
金属製品	25	0	92	8	△8	25	0	92	8	△8
一般機械	59	3	95	2	1	57	5	91	4	1
電気機械	78	2	90	8	△6	77	3	88	9	△6
輸送用機械	47	0	94	6	△6	47	0	94	6	△6
精密機械	10	0	80	20	△20	10	0	90	10	△10
その他	40	0	95	5	△5	39	0	97	3	△3
計	548	1	95	4	△3	544	1	95	4	△3
卸売業										
生産財	30	0	97	3	△3	30	0	97	3	△3
消費財	30	0	97	3	△3	30	0	97	3	△3
計	60	0	97	3	△3	60	0	97	3	△3
合計	608	1	95	4	△3	604	1	95	4	△3

## － 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2010年10～12月実績（見込み）の『動向指数』は、繊維・衣服など4業種がマイナスで、残り11業種がプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス4で、前期（2010年7～9月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 2011年1～3月の『動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄および一般機械がマイナスに反転し、化学・プラスチックおよび生産財卸もゼロ水準に下降することなどにより、業種全体の『動向指数』は△1まで低下しよう。この結果、物流コスト割合は概ね現状レベルで推移するとみられる。

### 物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2010年10月～12月実績					2011年1月～3月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食 料 品 ・ 飲 料	97	23	64	13	10	97	16	73	11	5
繊 維 ・ 衣 服	50	12	68	20	△ 8	50	14	64	22	△ 8
木 材 ・ 家 具	42	19	71	10	9	42	14	76	10	4
パ ル プ ・ 紙	45	13	76	11	2	45	16	76	8	8
化学・プラスチック	108	15	73	12	3	108	11	78	11	0
製 窯 業 ・ 土 石	43	21	67	12	9	43	19	67	14	5
造 鉄 鋼 ・ 非 鉄	108	14	74	12	2	108	11	74	15	△ 4
業 金 属 製 品	60	20	55	25	△ 5	59	20	58	22	△ 2
一 般 機 械	95	18	68	14	4	95	15	69	16	△ 1
電 気 機 械	134	19	61	20	△ 1	133	17	60	23	△ 6
輸 送 用 機 械	87	17	73	10	7	86	15	72	13	2
精 密 機 械	24	16	63	21	△ 5	24	8	67	25	△ 17
そ の 他	57	23	67	10	13	57	25	60	15	10
計	950	18	68	14	4	947	15	69	16	△ 1
卸 生 産 財	58	19	66	15	4	58	16	68	16	0
売 消 費 財	49	18	70	12	6	49	16	70	14	2
業 計	107	19	67	14	5	107	16	69	15	1
合 計	1,057	18	68	14	4	1,054	15	69	16	△ 1